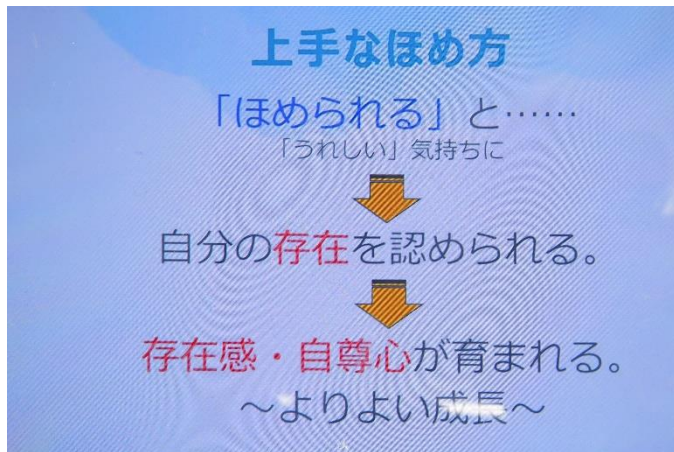


令和3年度「郡山市私立幼稚園・認定こども園PTA 連合会ブロック研修会資料」からの抜粋

本資料は、「郡山市私立幼稚園・認定こども園PTA 連合会ブロック研修会」のための研修用「You tube 動画」からの抜粋です。「上手なほめ方・叱り方」についてのものです。やや読みにくいところがありますが、ご了承ください。よりよい子育てのために、ぜひ、ご一読をお勧めします。 (両面刷りです)



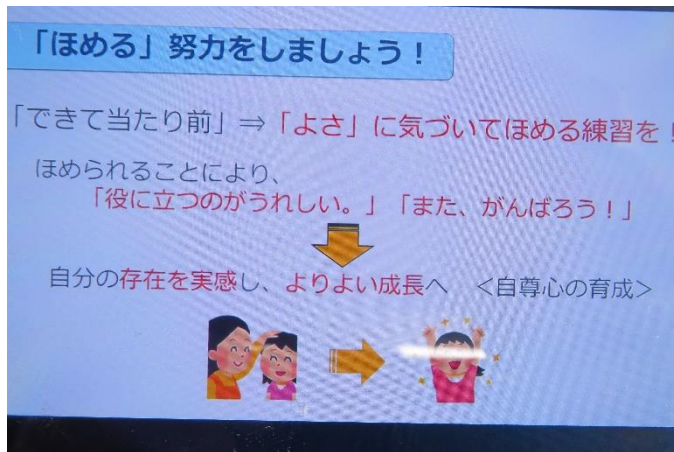
(1)



(2)

- ▶ 「ほめ方」のポイント
- ① 子どもをよく見て、その都度、**よさを具体的に**。
  - ② **しっかりと目を見、心を込めて**。 ×○○しながら
  - ③ **スキンシップ**を取りながら。(頭をなでる、etc.)
  - ④ **努力したこと、良くなったところを**。  
(結果より過程を)
  - ⑤ **他の子とくらべずに**。 ×「○○さんより上手だね。」

(3)



(4)

**ほめ言葉バンク**      どんな言葉で……?

過程に目を向ける	……「がんばってるね。」「たくさん練習したね。」
能力に目を向ける	……「お風呂掃除を頼むとどかピカしてくれるからうれしいな。」
個性に目を向ける	……「そういう色を選ぶってすごいなあ。おしゃれたね。」
性格に目を向ける	……「そういう○○ちゃんの優しいところが好きだよ。」
フォローしながら	……「言い方はきついけど、はっきりしているところは好きだな。」
他人の賞賛を伝える	……「お母さんの友達が、言葉遣いがきれいだってびっくりしてたよ。」「見習おう」「真似していい?」
	……「毎日続けてえらいな。お母さんも見習おう。」
第三者へ本人の前で間接的にほめる	……「この子が手伝ってくれるから、助かってるんです。」
一緒に過ごすことへの喜びを述べる	……「あなたと一緒に食べるとご飯がおいしい!」

(5)

- 「ほめる」**      でも、こんなことには気を付けて!
- ① 「子どもは、ほめればほめるほどいい」?  
・「過度にほめる」ことの弊害 ⇒ こうすればほめられる。(=しないと叱られる。)
  - ② 「こんな子になってほしい」という親の期待?  
・「親の期待」⇒「親自身の満足」になっていないか? 「子ども自身のためには……」
  - ③ 「ほめなければできない子」にしていない?  
・ほめられなくても、ほめる人がいなくても行動できる子にしていけることが目的
  - ④ 「何かができる」「できない」が大切?  
・子どもの自己肯定感(人の評価に左右されない自信)を高めることこそ親の務め
- 

(6)

**上手な叱り方**

子どもを「叱る」こと

↓

**社会適応に必要な知識やスキルを教えるために必要**




(7) 裏面へ



## 表面からの続きです

「叱る」のはどんなとき？

安全・命 …… 命に関わる危険な行為  
 対人関係 …… 他人の人格・肉体を傷つける行為  
 公共・規範 …… 公共の場で人に迷惑をかける行為  
 生活習慣 …… 望ましい生活習慣が行えないとき

(8)

▶ 「叱り方」のポイント

- ① 子どもと同じ目線で、目を見て、愛情を持って叱る。
- ② 理由をきちんと説明して叱る。
- ③ 叱るタイミング・場所も重要。
- ④ 次の行動に生かせるように叱る。
- ⑤ 叱った後のフォローも大切に。

「上手に」叱る = 「ていねいに」叱る

(9)

やってはいけない「叱り方」

- ① 感情的に「叱る」。
- ② 子どもの言い分を聞かずに叱る。
- ③ くどくど、いつまでも叱り続ける。⇒ (短く叱る)
- ④ 自分の都合で叱る。
- ⑤ 両親が一緒になって叱る。
- ⑥ 誰かとくらべて叱る。
- ⑦ 昨日と今日で言うことを変えて叱る。
- ⑧ 全人格を否定する言葉や、突き放す言葉で叱る。
- ⑨ 昔のことまで引っ張り出して叱る。
- ⑩ 愛情のない体罰。

(10)

「怒る」と「叱る」って同じ？



「怒る」  
感情的→気持ちをぶつける  
親の自分本意




「叱る」  
理性的→子どもにわかるように、子どもへの愛情を持って

(11)

上手な叱り方

子どもを「叱る」こと



社会適応に必要な知識やスキルを教えるために必要

(12)

怒りのスイッチをOFFにする方法①



- ① 「ストップシンキング」  
…… 「1, 2, 3と数えてみる」  
脳の感情系の反応に「待った」をかける。  
※ アンガーマネジメントでは6秒間
- ② 「クロスポジション」  
…… 自分と子どもの立場を入れ替えて考えてみる。
- ③ 「タイムアウト」  
…… 少しの間、脱出する。その場を離れてみる。

(13)

怒りのスイッチをOFFにする方法②

④ 「リフレーミング」  
…… 子どものマイナス面ばかりを見ているのを止め、違う見方(プラス面)でとらえなおしてみる。

「頑固・言うことを聞かない」	⇒ 「意思がしっかりしている」
「おとなしすぎる」	⇒ 「温和、思慮深い」
「変わっている」	⇒ 「個性がある」
「ゆっくりしている」	⇒ 「慎重、ていねい」
「ふざけてばかり」	⇒ 「ユーモアがある、面白い」






(14)

100点満点・大正解の「ほめ方・叱り方」はない。

完璧な親などというものは、存在しない。

誰のための子育てなのかを考え、できそうだと思うことから、一つでも二つでもいいので、少しずつ実行していきましょう。

(15) 終わりです